

## 早朝清掃から学ぶ

私は、山形駅東口周辺地域の早朝清掃を朝4時30分から6時30分頃までの時間帯で実践しております。日数的には7500日超え、もう30年になりました。

また、このことで輪が広がり、月一回第2水曜日に20人から60人位の人数で「山形を掃除しよう」という会名で歩道、車道、中央分離の植栽、公園、バスやタクシープール等を広範囲に掃除して、200回になろうとしています。

ところで、山形駅は「山形県の玄関口」であり、「顔」です。多くの学生や人々が通う所です。その顔が「きれいな所」であることは、環境的にも良いし、県民の文化度の向上にもなるし、そして、防犯、犯罪、交通事故の減少にもなると警察のデータが示しているそうです。

その点で、自分なりに考えて、環境整備、掃除は社会貢献で職業奉仕に繋がっているのではないかと考えております。

さて、この掃除との出会いは、イエローハット創業者の、故・鍵山秀三郎氏でした。以来、多くの学びと教を頂戴いたしました。

さて、経済的価値と社会的価値の両立を、日本人は昔から目指し、先人達は努力してきました。

渋沢栄一「論語と算盤」、石田梅岩「心学」、そして積善を積む、陰徳を積むなど、これまで多くの先人達が実践してきたことです。このことは、「ロータリー」の職業奉仕とある種、通じる点があるのではないのでしょうか。

私なりに、その事を思いながら、今後も実践してゆきたいと考えております。